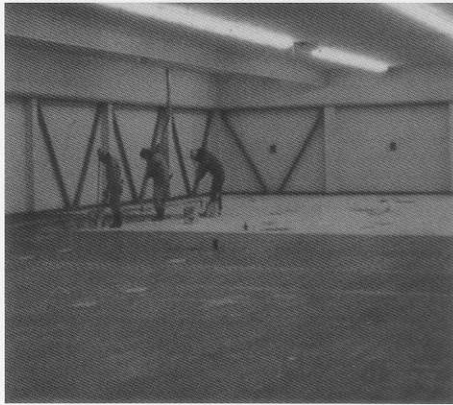


ライニング、塗り床用エポキシ樹脂系プライマー



# ボンドEプライマー

Eプライマーは、常温で硬化する2液等量混合型のエポキシ樹脂系プライマーです。主としてコンクリートやモルタル等の下地への密着性を向上させる目的で使用します。

タックフリーが特に早く作業性に優れています。また、上塗り可能時間が長く、常温で24時間経過しても上塗り樹脂によく密着します。

**■用途** プライマー：エポキシ樹脂ライニング、塗り床用プライマー  
(当社のライニング材および塗り床材専用)

**■特長** **強力接着**：コンクリートや金属への接着性に優れ、ライニング、塗り床時における密着力が(被膜形成プライマー) 大幅に向上します。

**可使用時間**：塗布可能時間が長く、塗りやすい。

**作業性**：ローラーおよびスプレー適性に優れる。

**上塗り作業性**：タックフリーへの到達が早くかつ上塗り可能時間も長い、使いやすいタイプです。

**■性状**

	主 剤	硬 化 剤	混 合 物
主 成 分	エポキシ樹脂	アミドアダクト	—
外 観	白 色 液	褐色透明液	黄白色液
不 揮 発 分	72±5%	27±5%	50±5%
粘 度	13000±5000mPa·s (23℃)	13±5mPa·s (23℃)	50±10mPa·s (23℃)
比 重	1.20±0.10	0.90±0.10	1.00±0.10
混 合 比	主剤：硬化剤=1：1 (質量比)		
可 使 時 間	約5時間 (20℃、1kg)		

※数値は規格値ではありません。

**■使用方法**

- 施工面は、ホコリや油などを取り除き乾燥させてください。
  - Eプライマーの主剤と硬化剤を1：1 (質量比) の混合比で計量し、充分に混合攪拌して使用してください。
  - 一度に混合する量は、可使用時間以内に使いきれの量にしてください。
  - 器具類に付着した樹脂は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
  - 低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。
- ※上塗り材の塗り重ねは接着性保持のため、Eプライマーを塗布後3日以内に行ってください。

■技術データ

1. 接着強さ

	Eプライマー	試験方法
引張せん断接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	17.7 (c : 100)	JIS K 6850-1994

※ ( ) 内は破壊状態 : c…接着剤破壊率 (%)

被着体 : 鋼板同士 (材質 : S55C、表面处理 : サンドブラスト #120脱脂)

試験方法 : 表面处理した鋼板の接着面にプライマーを塗布、オープンタイム4時間後、ボンドE250で鋼板をはり合わせ、20℃で7日間養生後に強度を測定。

2. 曲げ接着強さ (モルタル : JIS R 5201 を用いて測定)

オープンタイム	1時間	8時間	24時間
曲げ接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	D→D	8.0 (100)	8.1 (100)
	W→D	7.4 ( 70)	7.5 ( 75)

※養生 : 20℃、7日間 ( ) 内はモルタル破壊率 (%)

接着条件 : D → D : 乾燥面塗布→気中養生 W → D : 湿潤面塗布→気中養生

試験方法 : 各条件下に暴露したモルタル供試体にプライマーを塗布し、それぞれのオープンタイム後、ボンドE410Rではり合わせた試験体を作り、JIS R 5201に準じた曲げ試験を行う。

3. 引張接着強さ

オープンタイム	1時間	8時間	24時間
引張接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	D→D	2.4 (100)	2.4 (100)
	W→D	2.0 ( 50)	2.2 ( 65)

※試験方法 : 歩道上 (表面ワイヤブラシ処理) にプライマーを塗布後、E410Rを上塗りしたものを建研式引張試験を行い接着強さを測定する。( ) 内は歩道板破壊率 (%)

プライマー塗布条件と養生条件 :

D → D : 歩道板表面をワイヤブラシで処理後プライマーを塗布、各オープンタイム後、E410Rを上塗りする。→20℃気中養生、7日間

W → D : 前日よりあらかじめ20℃の水中浸せき中の歩道板を水中より取り出し、布で充分表面の水をふき取った後、プライマーを塗布、各オープンタイム後、E410Rを上塗りする。→20℃気中養生、7日間

■梱包容量

●Eプライマー : 8 kgセット (主剤 : 4kg、硬化剤 : 4kg)

■警告

引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

注意事項 : 本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 火気のある場所や静電気が発生する場所では使用しない。●健康に有害な物質を含有しています。作業場所には、局所排気装置を設ける。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれないように出し入れする。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。●温度が40℃以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●大量に混合すると、発熱し煙が発生したり可使時間が短くなる可能性がある。可使時間以内に使いきれぬ量を混合する。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2004年12月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 **ボンド事業本部**

本 部 / 大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927  
東京支店 / 東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175  
福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545  
札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990  
北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187  
厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794  
広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676  
高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623

EテR03-05



吉紙配合率100%再生紙を使用しています。

Eプライマー

1997. 5.3000(O)78-FD  
2002. 6.3000(T)48-FD  
2004.12.5000(T)24-FD